

第 5 回 宇部市常盤通りウォークブル推進協議会 ～会議録～

日時	令和 5 年 1 月 31 日（火）10:00～11:00	
場所	ポスティビルド 3 階 研修室	
出席者	協議会	市長（会長）、岡松委員、宋委員、宮崎委員、熊谷委員、錦織委員（山田委員の代理）、溝部委員（野嶋委員の代理）、大久保委員（大下委員の代理） ※榊原委員、中野委員、江嶋委員欠席
	事務局（国）	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 尾畑総括保全対策官 道路管理第一課：橋谷課長、中井建設専門官、宮口、梅田 交通対策課：三浦課長、古濱係長
	事務局（市）	都市政策部：村上部長、福田次長 中心市街地活性化推進課：渡辺課長、野村副課長、綿貫係長、安部係長、野崎

議事概要

議題 1「常盤通りの管理運営体制（案）について」

審議の結果、事務局の提示する管理運営主体（中間組織）を中心とした体制案を協議会として了承いただき、部会へ報告することとした。

意見等については、以下のとおりである。

- ・これまで官が主体であったため、一部還元は難しかった。しかし、これからは公民連携（むしろ民が主体）であり、還元できる仕組みを取り入れることができる。よい案。
→【会長】しっかり地域に定着していただける事業者が必要。
- ・このような事業者（体制）がほしかった。事業採算性はどのように考えておられるか。またイベントを 100 件以上実施いただきたいし、商店街としてもお手伝いできれば。
→【事務局】事業採算性はこれから詳細に検討する必要があると考えている。イベントを 100 件以上という件数について、具体的に何件行うとは現段階で言えないが、より多くのイベントを開催すること、さらには井筒屋跡地や商店街などもしっかり連携した取組（イベント）を進めるためにも行政主体ではなく中間組織で運営する体制が望ましいと考えている。
- ・商店街もそもそも儲けた分を還元することが基本。しかし、儲からない。儲かるイベントが必要。（節分祭や土曜夜市など）
→【会長】イベントもなかなか市だけではうまくいかない。様々なが主体が様々な土俵でイベント等を実施していけるよう、市はこれまでのサービスプロバイダーではなく、共創プラットフォームを整備していかなければならない、それが今の市の役割だと思っている。また、学生にもしっかり活用していただけるようなまちづくりも必要と考えている（学生街）
- ・屋外広告物の設置などで広告収入を得ていくことはできないか。
→【国土交通省】国道での屋外広告物は難しいと考える。
- ・維持管理にいくら費用がかかって、人件費（人数）がどの程度想定されるかということをしつかりつめていく必要があると思う
→【会長】今後検討していく必要がある。

・【会長⇒国土交通省、警察】歩行者天国を例えば月 1 回行って、イベント等が実施できればと考えている。可能と考えてよいか。

→【国土交通省】関係団体との調整は必要と考えるが物理的にできないわけではない

→【宇部警察署】安全対策が基本クリアできていれば良いと考える。不明な点があればアドバイスもできるので実施する際には積極的に相談いただきたい。